

電気錠をお選びになる前に

システム

1

電気錠システムの基本構成

電気錠（電気ストライク）を作動させるためには電気錠だけでなく、必ず電気錠・制御部・操作部の3点が必要です。（制御部と操作部が一緒になったタイプもあります。）
電気錠システムをお選びになる場合は上記3点をご発注いただきますようお願い申し上げます。



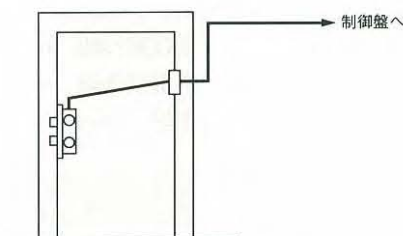
また、電気錠を正しく作動させるためには、建具工事だけでなく電気工事も必要です。配管・配線はもちろんですが、結線や機器の取付等、最初から施工区分を明確にしてください。

2

扉の種類による電気錠の選び方

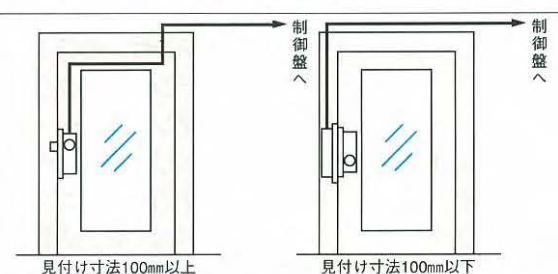
1. フラッシュ扉の場合

ほとんどすべてのタイプの電気錠を取付けることができます。



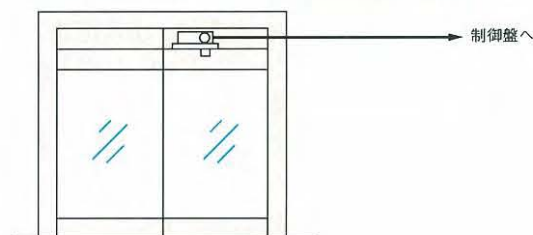
2. 框扉の場合

框の見付け寸法が100mm程度以上の場合（有効内寸80mm以上ある時）は本締電気錠AL3M型が使用できます。それ以外の場合は枠側に電気ストライクを取付け、扉に自動施錠タイプの錠（AH、HK等）を使用するのが一般的です。



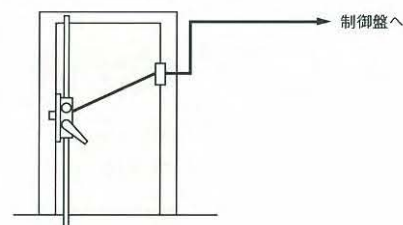
3. 強化ガラス扉の場合

扉自身に電気錠を取付ける事ができないので、無目に本締電気錠を下向きに取付けて、扉の上框にデッドボルトを落す方法になります。



4. その他の場合

重量扉やエアタイト入りの防音扉等にはグレモン電気錠をご使用ください。また、木製扉をご使用の場合は扉メーカーと良くご相談ください。



3

お願い

どんなに良い錠前でも、その取付けられる扉、あるいは扉の支持金物が良くない場合は、その機能が十分に果たせません。扉および扉支持金具も良いものをお選びくださるようお願いいたします。

電気錠は、電気で施解錠することを除いては、通常の錠前とまったく同じです。取付けに際しては、通常の錠前と同様のご注意をお払いいただくようお願いいたします。

電氣的に施解錠しない場合には、錠前として正しい取付けがなされているかどうか、また、電気錠と制御盤の間は正しい結線がなされているかどうかを、真っ先にご確認ください。
なお電気錠を直接雨水等がかかる場所で使用することはできるだけ避けてください。

電気錠の動作モード

システム

電気錠の動作は使用目的によりいくつかに分類されます。当社では電氣的な動作により、A、B、Eの3種類のモードを設定しています。

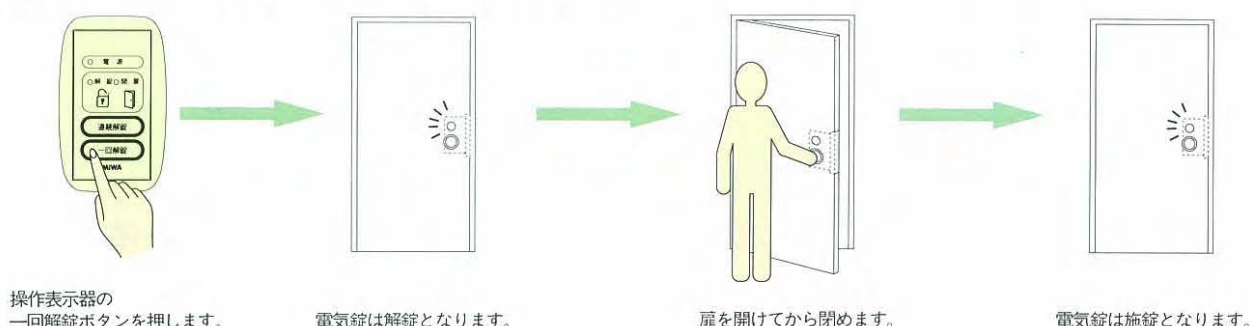
A

Aモード：閉扉自動施錠機能

電気錠（電気ストライク）を扉が閉まると自動的に施錠になる機能で使用する場合はAモードと言います。解錠するときの動作の仕方により、一回解錠と、連続解錠があります。

1. 一回解錠

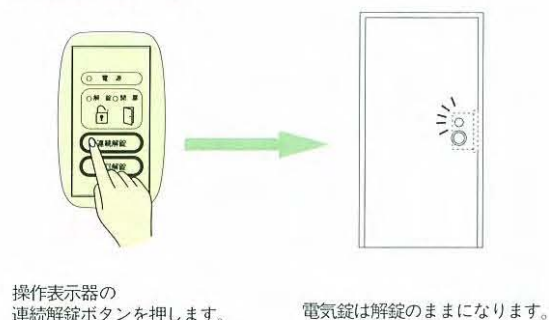
操作表示器の一回解錠ボタンを押すと、あらかじめ設定した時間だけ電気錠が解錠します。この時間内に扉を開けて、再び閉めると電気錠は自動的に施錠になります。一回解錠ボタンを押して解錠しても扉を開けなかった場合は、設定した時間が過ぎると電気錠は施錠になります。なお、キーまたはサムターンで解錠した場合は扉を開けて再び閉めると自動的に施錠になりますが、解錠しても扉を開けなかった場合の電気錠の動作は錠種により異なります。



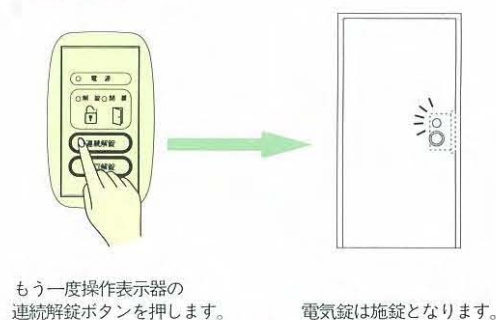
2. 連続解錠

操作表示器の連続解錠ボタンを押すと、もう一度連続解錠ボタンを押すまでの間は解錠のままになります。連続解錠状態ではキーまたはサムターンでも施錠はできません。施錠に戻すにはもう一度連続解錠ボタンを押します。

●電気錠を解錠する場合



●電気錠を施錠する場合



B

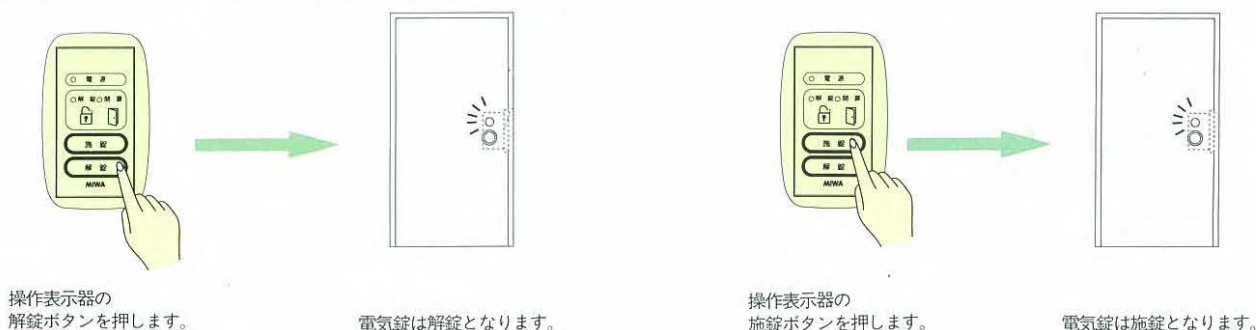
Bモード：施解錠繰り返し機能

電気錠を施錠と解錠を交互に繰り返して使う場合をBモードと言います。

モード

Bモードの場合の電気錠の動作

操作表示器の解錠ボタンを押すと施錠中の電気錠が解錠します。また施錠ボタンを押すと解錠中の電気錠が施錠します。キーまたはサムターンでも同様に施錠と解錠ができます。

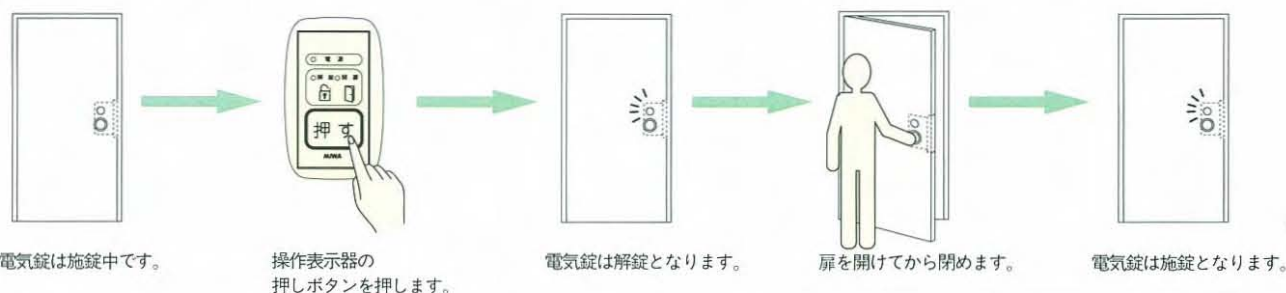


Eモード

Aモードと同様に閉扉自動施錠機能ですが、キーまたはサムターンで解錠したときのみ解錠のままになる機能をEモードと言います。

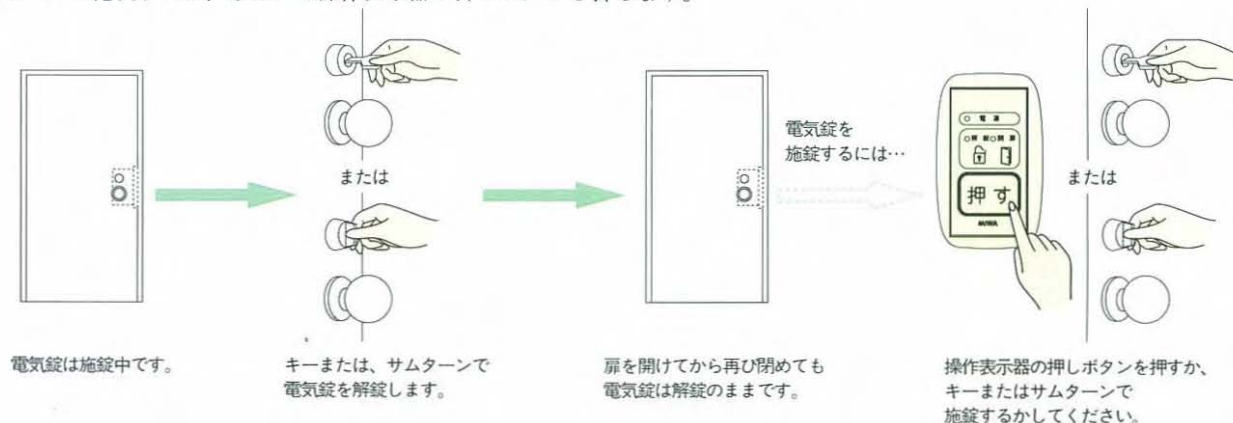
1. Eモードの場合の電気錠の動作——操作表示器で解錠した場合(電氣的に解錠した場合)

電気錠が施錠中に操作表示器の押しボタンを押すとあらかじめ設定した時間だけ電気錠が解錠します。この時間内に扉を開けて再び閉めると電気錠は自動的に施錠します。押しボタンを押して解錠しても、扉を開けなかった場合は設定した時間が過ぎると施錠となります。



2. Eモードの場合の電気錠の動作——キーまたはサムターンで解錠した場合

電気錠が施錠中にキーまたはサムターンで解錠した場合は再び扉を閉めても解錠のままです。施錠するにはキーまたはサムターンで施錠するか、あるいは操作表示器の押しボタンを押します。



操作方法の違いによる出入り口管理の機器

出入り口の管理方法を何にするかによって、システムをお選びいただけます。

システム

操作方法	方 式	種 別	管理人員	管理ゲート(数)	システム最大接続数	制御機器(型式)	掲載ページ
カード	接触式	磁気	6	1		MCL	N14
			898	1		MCU-001	N28
			1250	1		MC-2130	452
			2800/1台	2	16	MC-2520	453
			10/1ゲート	2		BAN-Y2	433
			10	1		BAN-WS	435
		バーコード	1000/1ゲート	1	50	BAC-001	451
			4	1		BCL-001	278
		IC	制限なし※	1	制限なし※	ICC-002	449
	非接触式	電波	16	1		NTC-001	447
1000/1ゲート			1	45	NTC-002	448	
8			1		RKU-001	N27	
ボタン							
テンキー				1		T-3110	445
	ランダムテンキー			1		TK-001	443
				1		TK-002	444
				1		TKU-001	442
キー	キー	キー		1		KS-(10.20.31.41.110)	N22、464
			500	3		KMS-002	450
	カード併用	磁気	2000	51		KHBOX	454～456
		マグレス	2000	51		KHBOX	454～456
		IC	2000	51		KHBOX	454～456
集中監視盤	多回線式			5・10		BAN-RS	437
				10・20・30		BAN-LS	436
インターホン タイマー				1		BAN-XS1	439
				1		BAN-TS1	440
	2線式			2		BAN-A2	432
				2		BAN-AS2	N25
遠隔操作				1		SSP-C1 ^D _E	434
				2		SWP-C2 ^{DD} _{EE}	434
インターロック				2		BAN-Q2 LA	438
				2		BAN-H2LA	438
	2線式			2		BAN-IS2A	N26
				2		BAN-IS2B	N26

※パソコンの記憶容量によります。

管理ゲート数は制御機器1台で制御できるゲート数(電気錠数)を示します。また、システム最大接続数はパソコン等により集中管理する場合の制御機器数を示します。

HOUSE：電気錠システムの例

一般住宅

システム
の例



システム例1—HOMET-07

【システムの機能】

1. 操作盤を使って解錠する

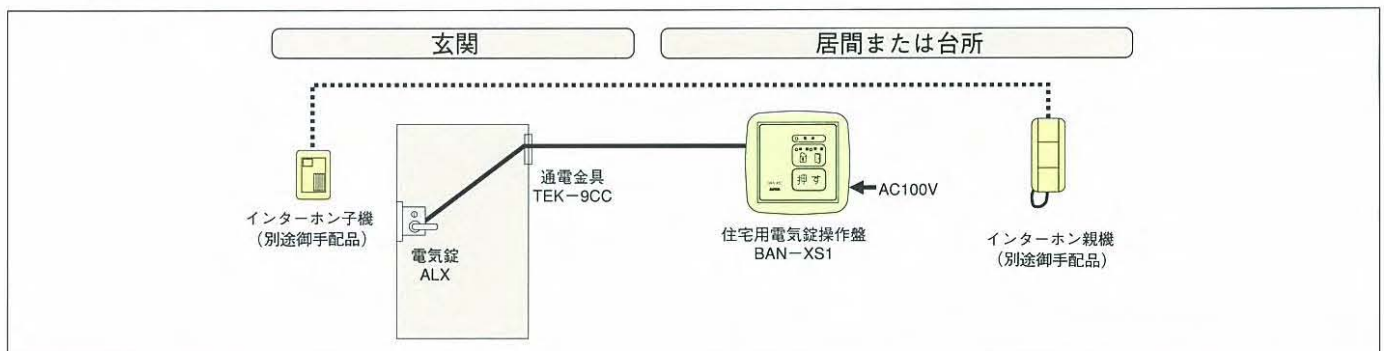
来訪者をインターホン等で確認した後、操作盤の押しボタンを押すと電気錠はあらかじめ設定した時間だけ解錠になります。扉を開けた後再び閉めると電気錠は自動的に施錠します。

2. キーまたはサムターンで解錠する

キーまたはサムターンで解錠した場合は扉を閉めても解錠のままになります。施錠するためには扉を閉めた状態でキーまたはサムターンを施錠方向に回すか操作盤の押しボタンを押します。なお扉が開いた状態でサムターンを施錠位置に回して扉を閉めても自動的に施錠となります。

3. 操作盤でのランプ表示

電気錠が解錠すると操作盤の解錠ランプが点灯し、扉が開くと開扉ランプが点灯します。



システム例2

【システムの機能】

1. テンキーでの解錠

テンキーに正しい暗証番号を入力すると、電気錠はあらかじめ設定した時間だけ解錠します。扉を開けた後再び閉めると電気錠は自動的に施錠します。

2. 操作表示器での解錠

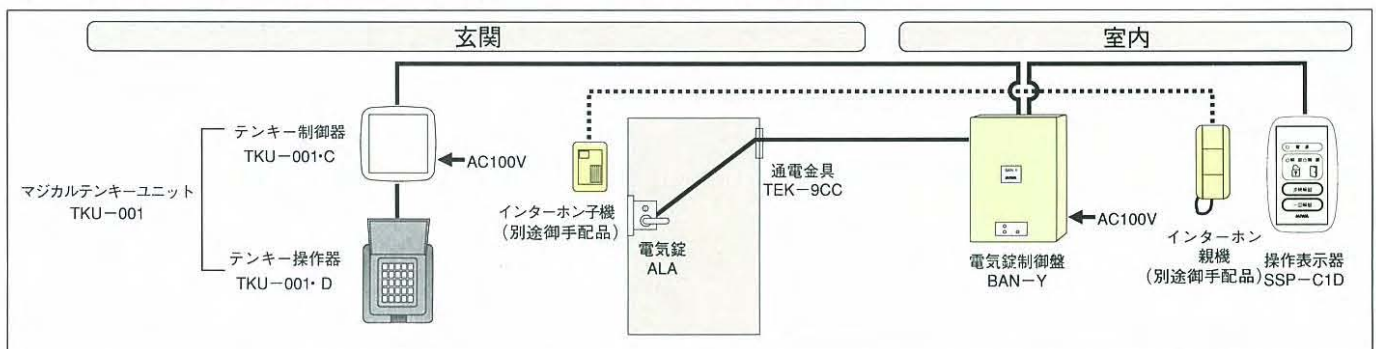
来訪者をインターホン等で確認後、操作表示器の一回解錠ボタンを押します。あらかじめ設定した時間だけ電気錠が解錠しますので、その間に扉を開けて中に入ります。扉を閉めると自動的に施錠になります。連続解錠ボタンを押すと電気錠は解錠のままになり、扉を閉めても施錠されません。再度連続解錠ボタンを押すと施錠になります。

3. キーまたはサムターンでの解錠

一回解錠ボタンを押したときと同様に設定した時間だけ解錠し、扉を閉めると自動的に施錠します。

4. 操作表示器のランプ表示

電気錠が解錠すると操作表示器の解錠ランプが点灯し、扉が開くと開扉ランプが点灯します。



APARTMENT&DORMITORY：電気錠システムの例

マンション/寮

システム
の例



システム例 1

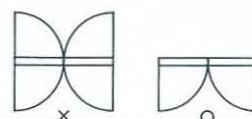
【システムの機能】

1. 入館時

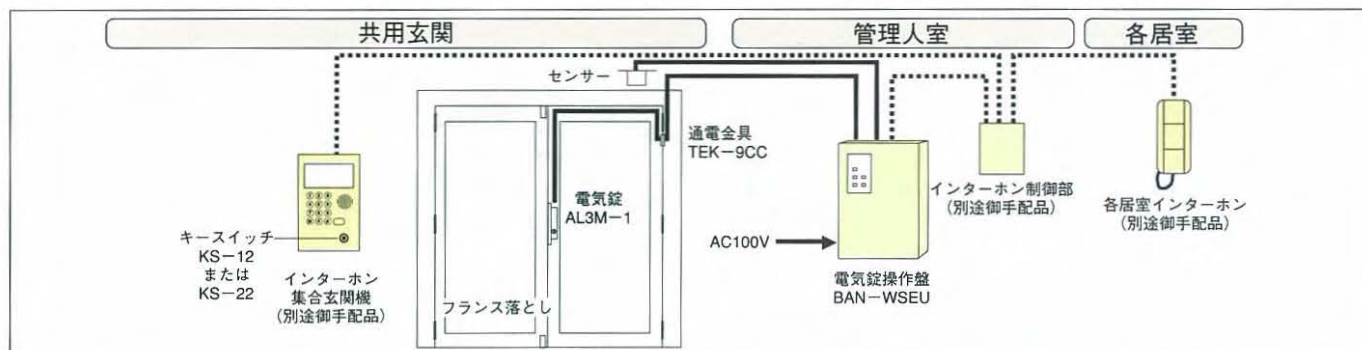
- ・居住者は各住戸のキーを集合玄関機のキースイッチに差し込んで回すと電気錠が解錠するので中に入ります。
- ・来訪者は集合玄関機で訪問先と連絡を取り、住戸のインターホンの解錠ボタンで電気錠を解錠してもらい中に入ります。
- ・いずれの場合も扉を閉めると自動的に施錠します。

2. 退出時

- ・扉に近づくセンサーが感知して電気錠が解錠しますので、外に出ます。



※扉は自由開き不可。ドアクローザ等はストップなしをご使用ください。



システム例 2

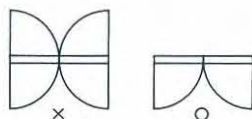
【システムの機能】

1. 入館時

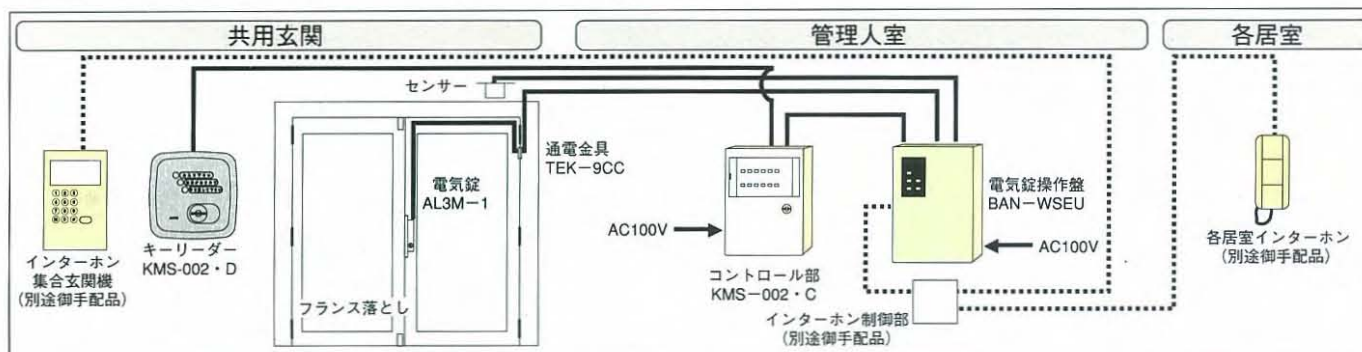
- ・居住者は各住戸のキーをキーリーダーに差し込むと電気錠が解錠するので中に入ります。
- ・来訪者は集合玄関機で訪問先と連絡を取り、住戸のインターホンの解錠ボタンで電気錠を解錠してもらい中に入ります。
- ・いずれの場合も扉を閉めると自動的に施錠します。
- ・このシステムはキーを個別に記憶しているので、キーの登録抹消が簡単にでき、キーの紛失や入居者の転居などにも迅速に対応できます。

2. 退出時

- ・扉に近づくセンサーが感知して電気錠が解錠しますので、外に出ます。



※扉は自由開き不可。ドアクローザ等はストップなしをご使用ください。



OFFICE&BUILDING：電気錠システムの例

オフィスビル/インテリジェントビル

システム
の例



システム例1

【システムの機能】

1. 入館時

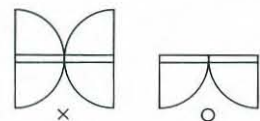
- ・昼間は出入り自由。夜間および休日は、テナント入居者は自室のキーでキースイッチを操作して電気錠を解錠して中に入ります。

2. 退館時

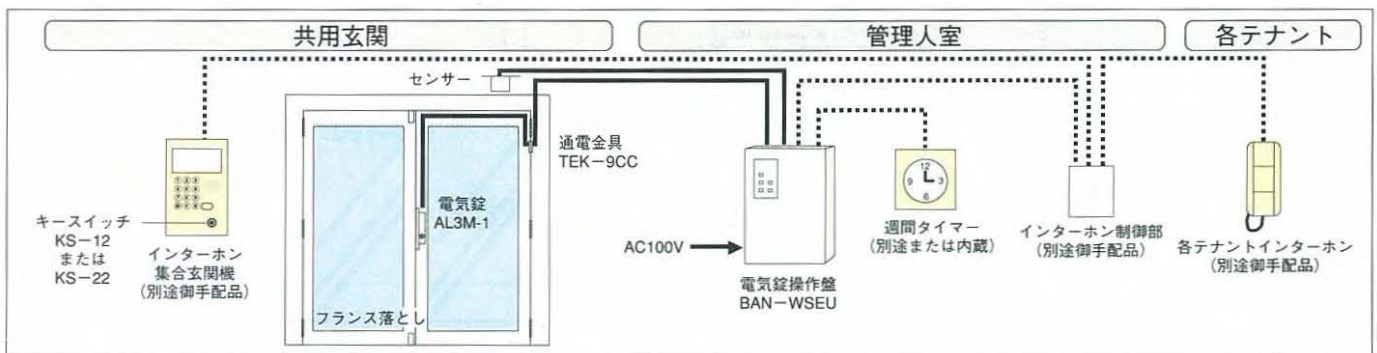
- ・扉に近づくセンサーが感知して電気錠が解錠し、外に出ます。

3. タイマー

- ・このシステムは操作盤にタイマーを追加し、平日と休日の解錠時間の設定をしておきます。



※扉は自由開き不可。ドアクローザ等はストップなしをご使用ください。



システム例2

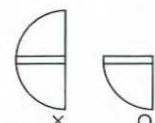
【システムの機能】

1. 入室時

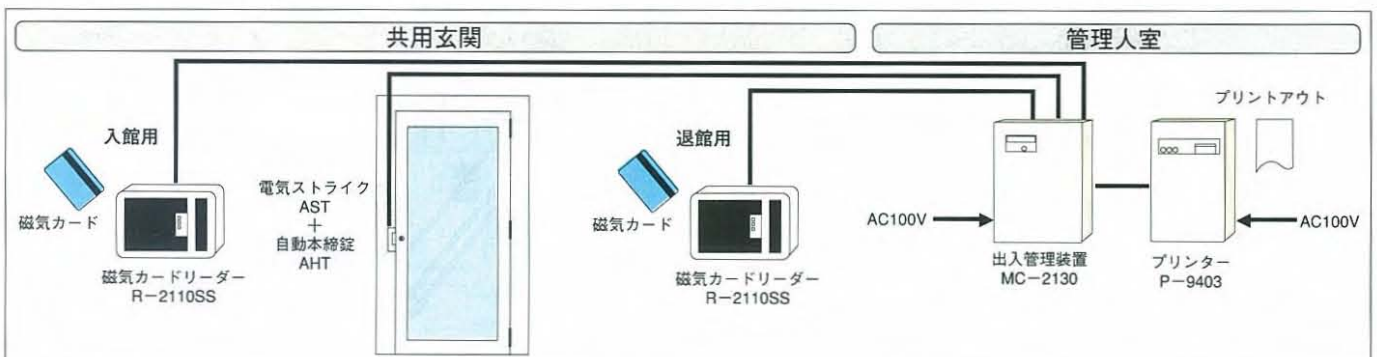
- ・カードをカードリーダーに通すと電気ストライクが解錠し中に入ります。この時入室した日時、個人コード、出入の区別等をプリントアウトします。

2. 退室時

- ・カードをカードリーダーに通すと電気ストライクが解錠し、外に出ます。この時退室した日時、個人コード、出入の区別等をプリントアウトします。



※扉は自由開き不可。ドアクローザ等はストップなしをご使用ください。



HOTEL：電気錠システムの例

ホテル

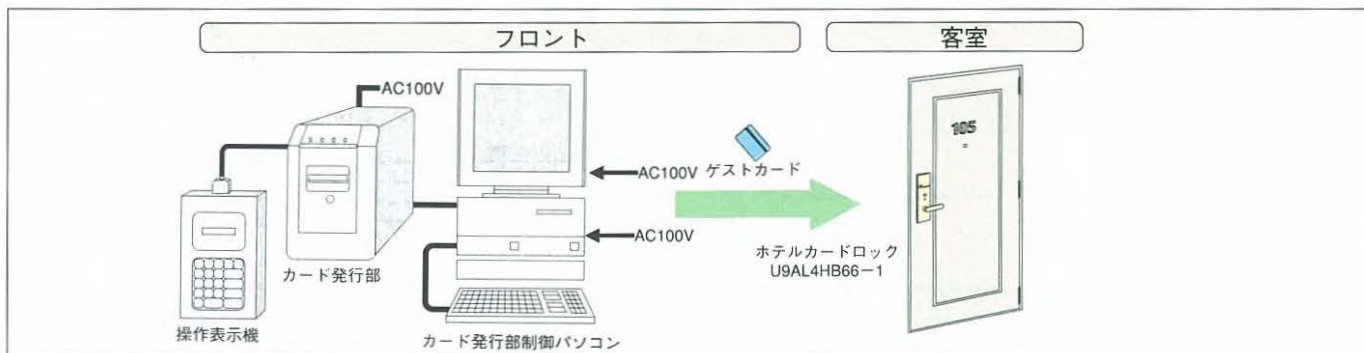
システム
の例



システム例 1

【システムの機能】

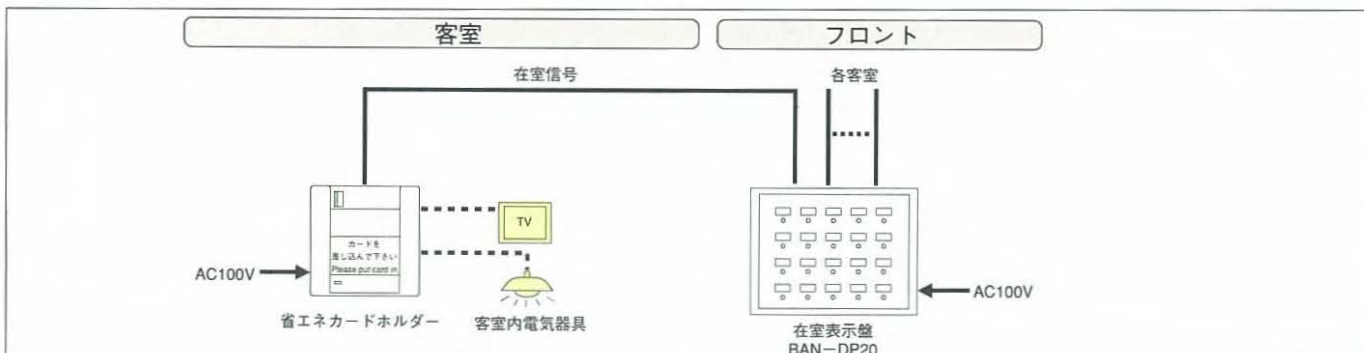
- ・フロントでカード発行機によりゲストカードを発行します。
- ・ゲストカードを客室のカードロックへ挿入するとカードロックが解錠するので中に入れます。
- ・ゲストカードはチェックアウトタイムを過ぎると無効になるので、セキュリティも万全です。



システム例 2

【システムの機能】

- ・客室内に設置したカードホルダーにゲストカードを差し込むと、客室内の照明やテレビ等の電源がONになります。外出時にゲストカードを抜くと、照明等の電源がOFFとなり省エネに役立ちます。またカードホルダーにゲストカードが差し込まれているときに在室信号を出力して在室表示盤にランプ表示することもできます。



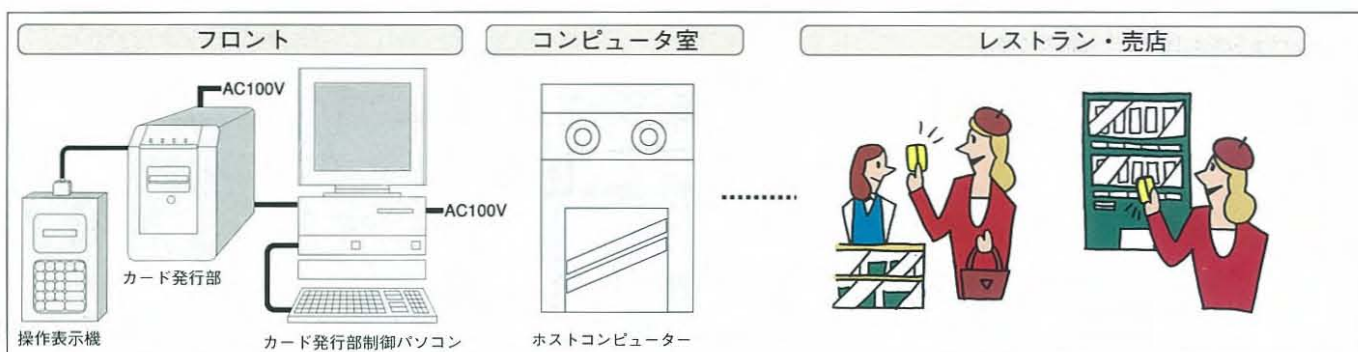


ホストコンピューター

システム例3

【システムの機能】

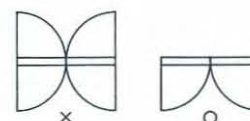
- ・ホストコンピュータと連動させることにより、チェックイン時のカード発行業務を簡略化したり、ゲストカードを利用してホテル内のショッピングやレストラン等のキャッシュレスシステムを構築することも可能です。



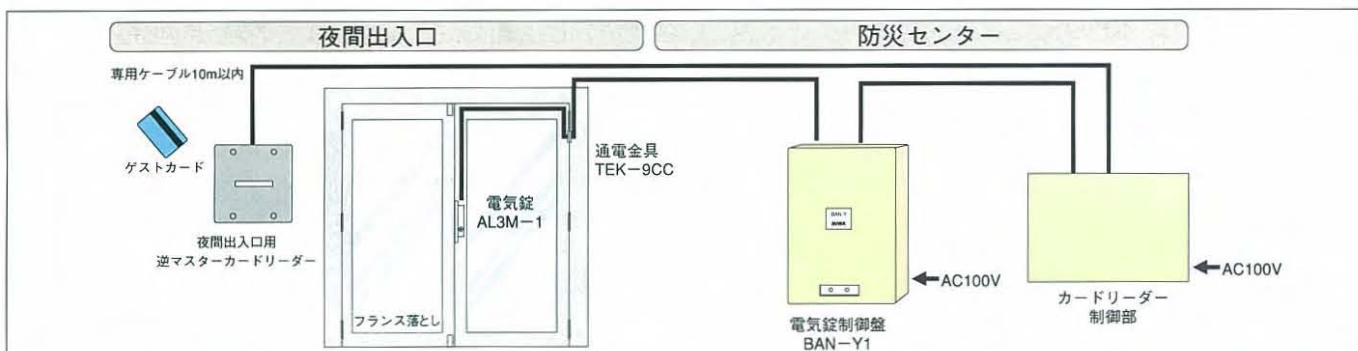
システム例4

【システムの機能】

- ・夜間出入口に設置した逆マスターカードリーダーにゲストカードを通すと電気錠が解錠するので、中に入ります。



※扉は自由開き不可。ドアクローザ等はストップなしをご使用ください。



LABORATORY&FACTORY：電気錠システムの例

研究所/病院/工場

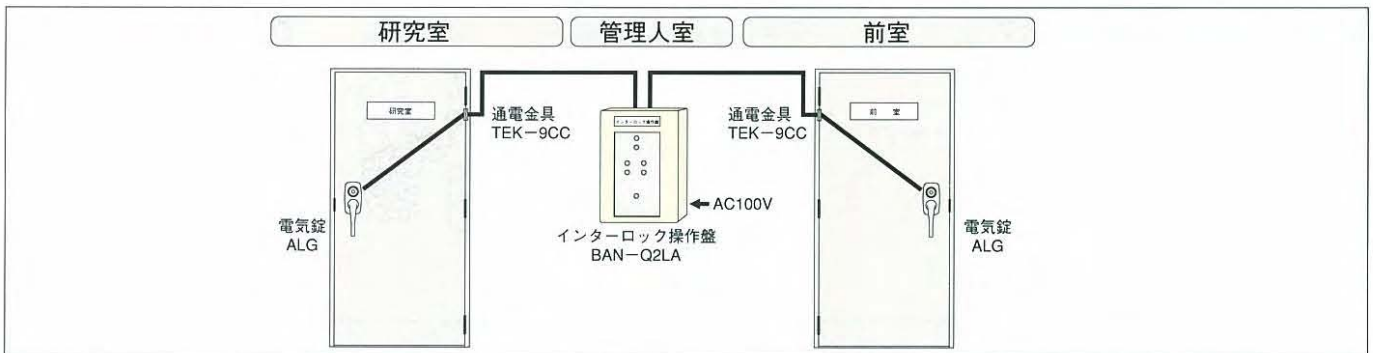
システム
の例



システム例 1

【システムの機能】

- ・前室等で、2つの扉が閉まっているときは両方の電気錠とも解錠しています。どちらか一方の扉を開けるともう一方の扉の電気錠が施錠となり、両方の扉が同時に開くことはありません。



システム例 2

【システムの機能】

- ・バーコードカードをカードリーダーに通すと電気錠が解錠します。ホストコンピュータ、パソコンと連動して従業員の出退勤管理や、食堂の自動販売機のキャッシュレスシステムの運用も可能です。
- ・バーコードは赤外線読み取り方式なので、耐久性がよく、情報が汚れや磁気等に対し強いので、工場などに最適です。

